

1 成果と課題

		成 果	課 題
学力 状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字練習帳への取り組みや漢字テストの継続で漢字や語彙の力はついてきている。(言語についての知識・理解・技能の問題ができています) ・ グループ学習の取り入れで話す聞きの力がついてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的短い文章を読む力はあるが長文になると、読む前から集中力が継続しない傾向がある。 ・ 資料や文章から適切な情報を読み取る力が不足している。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の計算が身についている。 ・ 証明などの記述問題の無回答率が全国平均より低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算問題や証明などは3年間利用するものなどは、授業で復習等できるが、資料の活用は3年間に1度ずつしかやらないために、忘れている生徒が多い。テスト後などの機会に復習を入れるなどの工夫が必要である。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚的指示はよく伝わっており、聴く力がある。 ・ 無回答が0ということから、全体的に意欲的で、苦手な生徒にも努力が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す聞く以外の領域が苦手で、特に3人称単数現在形のsが付かないなど、基本的な文法事項が十分定着していないため、定着につなげるための授業改善が必要である。
	家庭 学習 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の授業に意欲的に取り組み、自信をもっている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家で計画を立てて勉強する習慣があまり身につけていない。 ・ 一日の家庭での勉強時間が少ない。 ・ 数学の学習に苦手意識がある。

2 改善の目標と方策

	何を (改善すべきこと)	どこまで (対象と達成目標の設定)	どのように (方策)
学力 状況	国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容をほぼ全員が正確に理解することを目標にする。 全員が正確な情報を読み取り、理解することを目標にする。 漢字テストに全員が意欲をもち、取り組むことを目標にする。 伝えたいことが読み手や聞き手に応じて正確に伝わるように、最後まで表現しようとすることを全員ができることを目標にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 長文の正確な理解ができるようになるために、学力テストで弱かった問題と類似の問題に取り組む。 定期テストに類似の問題を取り入れる。 単元ごとに条件を設定した作文を書く。 聞き取り問題に取り組む機会を増やす。 説明文の特徴を踏まえて、資料や文章から目的や意図に応じて必要な情報を読み取る学習活動を増やす。 説明文や文学作品を読んで、根拠を明らかにして自分の考えや思いを書く学習をする。
学力 状況	数学	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な確率の計算ができる。 代表値の特徴を理解し、資料を的確に読みとることができる。 文章題や発展的な問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実力テスト後に、資料の活用を復習する時間を作る。 計算問題だけでなく、語句の意味や使い方を丁寧に説明する。 こちらから問題を提示し、解かせる。類似問題の反復練習の時間をとる。 問題解決の手順や回答の書き方を明確に示し、じっくり問題に取り組む姿勢を身につけさせる。 グラフの傾きや交点が何を表しているかを具体的に指導し、グラフから必要な情報を読み取る力を身につけさせる。 授業の初めに基礎・基本の学習を継続し、基礎・基本の定着を図る。

	何を (改善すべきこと)	どこまで (対象と達成目標の設定)	どのように (方策)
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法のパターン・プラクティスを繰り返す。 ・自分の考えを発信する場面を設定する等の授業改善をする。 ・自分の考えや伝えたい内容を英語で表現や記述することができる力を身につける学習の充実。 ・長文を読解することに慣れさせる学習活動を増やす。 ・長文を読解することができるための文法の復習や、語彙力をつける学習の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が、1分間に5問以上の英文を正しく表現できる。 ・全員が、2～3文で自分の考えを英語で発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯学習で、新出の文法を用いた文章を表現することに慣れさせるため、練習を繰り返す。 ・自分の考えを英語で発信する場面を設定し、自分の考えを即興で表現できるようにする。また、他の生徒の考えも共有できるようにする ・類似した問題を定期考査に盛り込む。(長文を読解する問題と自分の考えや伝えたいことを英語で記述する問題) ・リスニングの力がつくような学習活動の継続。 ・新聞のなかの英字の記事を使った英文を読み取る学習を取り入れる。
家庭学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で勉強する計画を立てさせる取り組み。 ・朝食を食べる習慣。夜睡眠時間を確保する習慣の定着の取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの時間は1時間以内を目標にする。 ・自宅学習の時間は2時間以上を目標にする。 ・朝食は100%を目標にする。 ・睡眠時間は7～8時間を目標にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活ノートにある自宅での計画。(勉強時間・メディアの時間)を毎日記入することで勉強時間を増やし、メディアの時間をセーブする。朝食・睡眠時間の記入もあり、規則正しい習慣を身につけさせる。